



下諏訪町ゼロカーボンシティ宣言

近年、地球温暖化による気候変動の影響により、深刻な自然災害が国内のみならず世界中で頻発しています。

下諏訪町においても、令和3年8月15日の豪雨災害では、住民の生命・財産を脅かす甚大な被害が発生したことは記憶に新しく、地球温暖化による気候変動は、町としても対策を講じていかなければならない重要な課題であります。

下諏訪町は、豊かな水と緑、温泉の資源、精密工業に代表されるものづくりなど優れたポテンシャルを持っていますが、近年では諏訪を代表する文化のひとつである御神渡りが見られなくなるなど、地球温暖化の影響が顕在化しつつあり、持続可能なまちづくりが求められています。

温暖化を食い止めるためには、多くの方がまちの未来への関心を持ち、ゼロカーボンやSDGsの達成に向けた取り組みなどこれからの時代に必要な知識を深め、「ゼロカーボンのまち」の実現に向けて積極的に実践していく必要があります。

こうした背景から、私たちの命と生活を守り、かけがえない自然と文化を次世代へと引き継いでいくために、町民及び事業者の皆様との協働によって、2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指すことをここに宣言します。

令和5年6月30日

下諏訪町長

宮坂 徹

